

日独戦史共同研究2019-2021

# 日本とドイツ 20世紀の経験

編集：

石津 朋之、フランク・ライヒヘルツァー

防衛省防衛研究所

国際共同研究シリーズ19

編集・発行：

防衛省防衛研究所

〒162-8808 東京都新宿区市谷本村町 5-1

電話：03-3260-3011

Fax：03-3260-3034

[www.nids.mod.go.jp](http://www.nids.mod.go.jp)

ISBN 978-4-86482-112-4

本書で表明されている見解は、各執筆者個人のものであり、必ずしも執筆者の所属する組織や政府の見解を代表するものではありません。

Copyright © 2022 The National Institute for Defense Studies

本書の全部又は一部について、形態や手段を問わず、複製、情報検索システムによる保管、転送を行う場合は、出版者からの書面での許可が必要です。

翻訳・DTP制作・印刷 (株) インターブックス

# 目次

序文 .....	i
はじめに .....	iii
<b>第 1 部 第一次世界大戦とその影響</b>	
第 1 章 .....	3
「Bellification (戦争化)」 世界大戦時代 (及びそれ以降) の戦争、軍、社会、知識 フランク・ライヒヘルツァー	
第 2 章 .....	25
第一次、第二次世界大戦におけるドイツの海軍戦略 ミヒャエル・エプケンハンス	
第 3 章 .....	59
日本と第一次世界大戦 石津 朋之	
第 4 章 .....	71
第一次世界大戦が日本陸軍の戦術上の発展に 及ぼした影響 阿部 昌平	
第 5 章 .....	87
鉄兜団 ( <i>Der Stahlhelm</i> ) 一前線兵士同盟 20 世紀ドイツの右翼運動 デニス・ヴェルベルク	
<b>第 2 部 第二次世界大戦と戦略</b>	
第 6 章 .....	111
北進論とゾルゲ諜報団：1941 年を中心に 清水 亮太郎	

第7章	129
ヒトラーの指揮官ハインツ・グデーリアンと ドイツ装甲部隊の進化 マルクス・ペールマン	
第8章	143
攻勢から防勢へ—太平洋戦争における日本の戦略 1942—44年 進藤 裕之	
第9章	155
日本の「終戦」をもたらした要因 庄司 潤一郎	
第10章	173
第二次世界大戦期におけるソ連軍指導部の 対日・対独認識 花田 智之	
<b>第3部 第二次世界大戦後と社会</b>	
第11章	193
欧州における多国籍軍組織 イーナ・クラフト	
第12章	211
「戦闘地域」から「戦略的ハブ」へ： 1990年代前期のドイツ連邦軍最高司令部における 戦争コンセプトの転換 マルティン・レーゼ	
第13章	247
公文書管理の視点から見た日独戦史 日本とドイツの公文書管理の状況 フランク・ケーザー	
付録1 ワークショップリスト	259
付録2 執筆者	263
あとがき	276